[異常時通報連絡の公表文 (様式1-2)]

伊方発電所から通報連絡のあった異常について (令和4年8月分)

R 4.9.12 原子力安全対策推進監 電話番号 089-912-2352

1 令和4年8月に、安全協定に基づき四国電力㈱から県へ通報連絡があった異常は次のとおりですので、お知らせします。

県の 公表 区分	異常事項	発生年月日	概 要	管理 区域 該当	国へ の 報告	備考
C	作業員の負傷 (3号機)	4.8.3	伊方発電所構内の作業において、作業員1名が負傷した。 負傷の程度:有意識の有無:無 意識の有無:無 所業の状況: 「下業の状況・ 「下業の状況・」 「大きなのででは、 「大きなのでででですが、 「大きなででですが、 「大きなででですが、 「大きなででですが、 「大きなでででする。 「大きなでででです。 「大きなででででする。 「大きなでででできるでは、 「大きなでででできます。」 「大きなでででできます。 「大きなででできます。」 「大きなでは、 「大きなでは、 「大きなでは、 「大きなでは、 「大きなでは、 「大きなでは、 「大きなでは、 「大きない。」 「大きない。 「大きない。」 「大きない。 「大きない。」 「大きない。」 「大きない。 「大きない。」 「大きない。 「大きない。」 「大きない。 「大きない。」 「大きない。 「大きない。」 「大きない。」 「大きない。」 「大きない。 「大きない。」 「大きない。 「大きない。」 「大きない。 「、 「大きない。 「大きない。 「大きない。 「大きない。 「大きない。 「大きない。 「大きない。 「大きない。 「大きない。 「大きない。 「大きない。 「大きない。 「大きない。 「大きない。 「大きない。 「大きない。 「大きない。 「大きない。 「、 「、 「、 「、 「、 「、 「、 「、 「、 「、 「、 「、 「、	外	×	今回去
С	電気出力の瞬間変動 (3号機)	4.8.7	送電系統への落雷により、伊方発電所3号機で瞬間的な電気出力の変動が発生した。 変動は瞬時に復帰しており、現在は安定して運転している。 この事象によるプラント設備への影響並びに環境への放射能の影響はない。	外	×	今回安表

県の 公表 区分	異常事項	発生年月日	概 要	管理 区域 該当	国へ の 報告	備考
A	協力会社従業員ウイルス2次感染	4.8.7	8月5日(金業) とのである。 とのであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるで	外	×	速済
A	協力会社従業員の新型コンス 2 次認分・(8/10 確認分・1事例目)	4.8.10	8月2日 者に、をし。にかび調み ウ従をを 査 染すウし 者に、をし。にかび調み ウ従をを 査 染すりし 者に、をし。にかび 調み ウ従をを 査 次 が は が は が は が は が は が は が は が は が は が	外	×	速済

県の 公表 区分	異常事項	発生年月日	概要	管理 区域 該当	国へ の 報告	備考
A	協力会社従業員 の新型 2 次感分・ (8/10 確認分・ 2 事例目)	4.8.10	務ナ認 触名し染発な) 転たと及 と込 ナ社査と 調 感 の、実にらで能、、い運 個囲 コカ・る で体とて所と 関四ら安 整等 イ業実確 は 防 の、実にらで能、、い運 個囲 コカ・る で体とで能、まに営 所い 口会検こ の ス を 1 1 協良、こ感しが業別の方い所者実で認 4 が 本 コ実 の 1 2 2 た事と伊な健触をま確者員 、 別の性に続更要1の名たたこし続策 を 1 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	外	×	速済
A	協力会社従業力のイルス2次感分・3事例目)	4.8.10	8 協力の大学を表示と表示を表示と表示を表示として、いいで、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して	外	×	速済

県の 公表 区分	異常事項	発生年月日	概 要	管理 区域 該当	国への報告	備考
A	四国電力社員のインス 2 次感染	4.8.12	8四八、一大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	外	×	速済
A	作業員の救急搬送 (共用)	4.8.31	伊方発電所構内の作業において、作業員1名が体調不良を訴えた。 意識の有無:有計画外被ばくの有無:無 汚染の有無:無 このため、当該作業員は救急車にて病院に搬送することとし、八幡浜市内 の病院に出発した。 当該作業員は病院で診察を受けた結果、「熱中症」と診断された。	外	×	速報 済

2 外部への放射能漏れや周辺環境放射線への影響はありませんでした。